

## 活動の歩み

(今までのモデルフォレスト活動への取組年表)

### ●平成19年10月:京銀ふるさとの森(京都市西京区嵐山)

京都府下の防災環境保全林のモデルとして、平成19年10月に当行の嵐山研修会館敷地内に、シラカシなど約4,000本の苗木を当行行員や地元の小学生、近隣の方々約800人が参加して植樹しました。

現在は、下草刈りなど、森の育成活動を継続して行っています。



植樹祭当日



立派な森になりました

### ●平成24年4月:京銀ふれあいの森(京都市北区上賀茂)

京都府および京都モデルフォレスト協会と「森林の利用保全に関する協定」を平成24年4月に締結。

京都市北区上賀茂にある本山国有林の一部を「京銀ふれあいの森」として京都府、京都モデルフォレスト協会、近畿中国森林管理局、京都産業大学および京都大学と連携して森林保全・育成に取り組んでいます。

#### 整備活動

平成24年度:10回、延べ382人参加  
平成25年度:7回、延べ317人参加  
平成26年度:11回、延べ344人参加  
平成27年度:8回、延べ306人参加  
平成28年度:4回、延べ152人参加  
(8月まで)



今後のモデルフォレスト活動の展開に向けて企業・団体として、していきたいこと、出来ること

当行では、「京銀ふれあいの森」の間伐材を記帳台等の店舗設備の一部に使用し、環境に配慮した店舗づくりを行っています。

また、「京銀ふれあいの森」では、整備活動の他に、一般公募で申し込みいただいた小学生とその保護者の方などが参加して、秋に「巣箱かけ」を、春には「巣箱観察会」を行っています。

今後も、森林への関心を高め、森づくりを拡大する契機となるよう、森に親しんでいた楽しい行事を企画してまいります。



はしごに登って巣箱かけ

## これからの京都モデルフォレスト運動への想い(要望、期待すること)

当行は、環境問題を経営の重要課題として認識し、全役職員が積極的に環境保全に取り組んでいます。

今後も「京銀ふるさとの森」「京銀ふれあいの森」などの整備活動、イベントの開催を通して、美しく健全な森林を守り、未来に引き継ぐ活動を展開していきたいと考えています。

## 活動データ

### ◆企業・団体

名称:株式会社 京都銀行  
本店所在地:京都市下京区烏丸通松原上る薬師前町700  
担当部署:総務部、広報部

### ◆協定(京銀ふれあいの森)

締結年月日:平成24年4月20日  
協定メンバー:京都府、公益社団法人 京都モデルフォレスト協会  
協定所在地:本山国有林の一部(京都市北区上賀茂)  
協定面積:15.22ha

### ◆活動(開始以降述べ):累計(京銀ふれあいの森)

活動延べ日数:46日  
活動述べ人数:約1,600人  
活動述べ面積:8ha  
活動内容:間伐、作業道作り、玉きり、ヒノキの皮剥ぎ、枯損木伐採  
ナラ枯れ木の伐採と密封処理、巣箱かけ、巣箱観察会等



協定調印式



「京銀ふれあいの森」開山式